

9月3日（水）アリの弟子

『^{がくもん}学問のすすめ』[」]の中^{なか}で、^{ふくざわゆきちせんせい}福沢諭吉先生

は、^{つぎ}次のようなことを^い言っています。

^{じぶん}自分の^{せいかつ}生活^{かんが}だけを^{かんが}考^{かんが}えているスケール

の^{ちい}小さい人^{ひと}は、「アリの弟子^{でし}」である、と。

自分の生活^{じぶん}はもちろん一番大事^{いちばんだいじ}でしょう。でもみんなが

自分の生活^{じぶん}のこと^{せいかつ}だけを^{かんが}考^{かんが}えていたら、いきいきとした^{しゃかい}社会^{しゃかい}にはならないでしょう。

扇^{おうぎ}っ子の^こ皆^{みな}さんには、「アリの弟子^{でし}」になってもらいたくなく

いです。自分の生活^{じぶん}だけでは^{せいかつ}なく、^{ともだち}友^{ともだち}達^{だち}や^{じぶん}自^{じぶん}分の^す住^すんでいる

^{ばしょ}場^{ばしょ}所^{ひと}の人^{ひと}や、^{せかい}世^{せかい}界^{せかい}のどこか^{くる}で^{くる}苦^{くる}し^{くる}んで^{くる}いる^{ひと}人^{ひと}のことも、

^{かんが}考^{かんが}えて^{かんが}ほ^{かんが}しい^{かんが}です。そう^なす^なると、何^なか^なで^なき^なる^なこ^なと^なが^なあ^なる^なか^なも^なし^なれ^なない^なし、^{べんきょう}そ^{べんきょう}の^{べんきょう}た^{べんきょう}め^{べんきょう}に^{べんきょう}勉^{べんきょう}強^{べんきょう}し^{べんきょう}たり^{べんきょう}行^{べんきょう}動^{べんきょう}し^{べんきょう}たり^{べんきょう}す^{べんきょう}る^{べんきょう}、^{こうどう}き^{こうどう}っ^{こうどう}か^{こうどう}け^{こうどう}に^{こうどう}な^{こうどう}る^{こうどう}か^{こうどう}も^{こうどう}し^{こうどう}れ^{こうどう}ま^{こうどう}せ^{こうどう}ん^{こうどう}。

また、自分のこと^{じぶん}だけを^{かんが}考^{かんが}えて^{かんが}い^{かんが}ない^{かんが}で、^{みな}皆^{みな}さん^{みな}の^{みな}こ^{みな}と^{みな}を^{みな}

^{かんが}考^{かんが}え^{かんが}て^{かんが}く^{かんが}れ^{かんが}る^{かんが}人^{かんが}が^{かんが}い^{かんが}る^{かんが}こ^{かんが}と^{かんが}にも^{かんが}気^{かんが}づ^{かんが}い^{かんが}て^{かんが}も^{かんが}ら^{かんが}い^{かんが}たい^{かんが}です。

アリの弟子^{でし}になら^{でし}ない^{でし}で、人^{ひと}のた^{ひと}め^{ひと}に^{ひと}役^{やく}立^{やく}て^{やく}る^{やく}人^{ひと}を、^{こうけん}貢^{こうけん}献^{こうけん}

^めで^めき^める^め人^めを^め自^め指^めし^めて^め下^めさい^め。

